

事務事業マネジメントシート
(兼)予算編成資料・実施計画資料

作成日 H 25 年 3 月 22 日作成

事務事業名	学校教職員健康診断事業			所属部局	教育委員会	単位番号	12099		
				所属課室	教育総務課	課長名	新津 岳		
	基本政策	V 個性と文化を育む都市づくり	所属担当	保健給食担当	担当者名	岩間 修司			
基本 計 画 体 系	□ 実施計画事業	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
			01	一般	10	01	02	020	20
			23	学校教育の充実	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業		
政策	36 「生きる力」を育む学校教育の推進		<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 補助金交付事業					
			<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> その他の事業					
施策	□ 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度) □ 期間限定複数年度 (~ 年度)		<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間			法令根拠	学校保健安全法					
事業の内容	事業の内容: 期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 学校における適切な健康管理と安全管理と運営において、教職員の健康状態を把握し、学校教育の円滑な実施と確保を目的とする事業。①基本健診②肺がん検診③胃検診④大腸がん検診⑤健康相談								
事務事業の概要	事業費の主な内訳 (24年度 決算見込)								
	項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)					
	その他委託料	7,442							
				計	7,442				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
24年度活動実績	基本健診、肺がん、胃、大腸がん健診、健康相談を実施。
25年度活動予定	基本健診、肺がん、胃、大腸がん健診、健康相談を実施。結核健診については、昨年度までのアナログ撮影からデジタル撮影に変更。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
市内小中学校県費教員、市単教員等	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように見えるのか)	
教職員が適切な健診受診及び健康相談により、病気の早期発見また、健康状態を把握する。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
学校教育の円滑な実施を行う。	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア: 受診者数	人
イ: 健康相談等対象者	人
ウ:	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア: 対象教職員数	人
イ:	
ウ:	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア: 再検査対象者数	人
イ: 実施相談者	人
ウ:	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア: 再検査対象者数 / 受診者数	%
イ: 健康相談等対象者 / 相談者数	%

(2) 事業費・指標の推移		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間事業費	財源内訳	国庫支出金 千円							
		県支出金 千円							
		地方債 千円							
		その他 千円							
	トータルコスト	一般財源 千円	7,151	7,442	8,963	8,963	8,963	8,963	0
		事業費計 (A) 千円	7,151	7,442	8,963	8,963	8,963	8,963	0
人件費	正規職員従事人数 人	2	2	2	2	2	2	2	
	延べ業務時間 時間	50	50	50	50	50	50	50	
	人件費計 (B) 千円	198	198	198	198	198	198	198	0
	(A)+(B) 千円	7,349	7,640	9,161	9,161	9,161	9,161	9,161	0
活動指標		ア: 人	360.0	360.0	360.0	360.0	360.0	360.0	
		イ: 人	451.0	451.0	451.0	451.0	451.0	451.0	
		ウ:							
対象指標		ア: 人	581.0	581.0	581.0	581.0	581.0	581.0	
		イ:							
		ウ:							
成果指標		ア: 人	360.0	360.0	360.0	360.0	360.0	360.0	
		イ: 人							
		ウ:							
上位成果指標		ア: %							
		イ: %	79.0	79.0	79.0	79.0	79.0	79.0	

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	合併前より学校における教職員の健康管理を行いうため開始されている。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	H22年度より検査項目(HbA1c)を追加した。また平成25年度は結核健診の撮影方法をアナログからデジタルへ変更する。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	結核健診の撮影方法について、養護教諭からアナログ撮影からデジタル撮影への変更の要望が出された。この件については、要望どおり平成25年度から実施する。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容↓】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	教職員の健康管理の向上を図るため、基本健診に追加項目を増やしている。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	育児休暇をとっている教職員もH24年度から健診の対象とした。また結核健診の撮影方法をアナログ方式からデジタル方式へ変更する予定。

事務事業名	学校教職員健康診断事業	所属部	教育委員会	所属課	教育総務課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 学校教育の円滑な実施が行える。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 教職員の健康管理について、基本健診等は複数特定事業者へ委託し、県教職員健康管理推進事業の健康相談を、山梨県教職員互助組合へ委託している。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 健康管理としては、充分な事業運営をしている。
	④成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 県費負担教職員が人間ドックを受診すると、その分検診予算としての残額が毎年発生するので、市単職員の健康相談の受診に振替ると更に成果が向上する。
有効性評価	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 学校教育の円滑な実施が行えなくなるため、学校運営に影響が生じる。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 教職員が適切な健診と相談ができる早期発見や健康の状態を知ることができなくなるため、休止・廃止できない。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 適切な検診項目を選択し受診している。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 委託事業のため削減余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 教職員全員に健診の機会が与えられるので、公平である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	教育現場が多様化及び多忙化する中で、教職員の健康管理の必要性は、学校運営上必要不可欠である。また、養護教諭から要望のあった、結核健診の撮影方法についてもアナログ方式からデジタル方式に変更し、平成25年度より実施する予定。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切)	<table border="1"><thead><tr><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th></th><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr></thead><tbody><tr><td>向上</td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr><tr><td>維持</td><td><input type="checkbox"/></td><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td><input type="checkbox"/></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	コスト水準				削減	維持	増加	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		低下	<input type="checkbox"/>		
コスト水準																						
	削減	維持	増加																			
向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																			
維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																				
低下	<input type="checkbox"/>																					
(2) 改革改善案について																						
① ② ③																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① ② ③	(11)																					
	成果優先度評価結果																					
	コスト削減優先度評価結果																					
	(6)																					

※ 廃止・休止の場合は記入不要